

主題名 ノーマライゼーションについて

教材名 ノーマライゼーションの実現に向けて

人権学習の視点 個別的な視点「障害のある人の人権問題」

主題・教材について 「完全参加と平等（1981年国際障害者年のスローガン）・共生社会の実現」に向けて、基本的な理念であるノーマライゼーションについての理解を深めたい。

ねらい 障害のある人とない人がともに生きていくノーマライゼーションを実現するためにはどのような課題があるかを考えることを通して、意識の壁（バリア）を乗り越えて互いのつながりを深めることの重要性に気付き、自分にできることを実践していこうとする心情と態度を養う。

4つのバリア  
1995年（平成7）「障害者白書」による

- ①物理的バリア
- ②制度的バリア
- ③意識のバリア
- ④文化・情報のバリア

※ここでは①物理的バリア③意識のバリアを中心に扱う。



本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○日常生活の中で、バリアフリーが取り入れられているものにはどのようなものがあるか考えさせる。	グループ 一斉	○バリアフリーが取り入れられている物や場所などをたくさん思い出してワークシートに書き発表し合う。	○グループで話し合っ、できるだけ多くのバリアフリーを見つけさせ、物理的なバリアフリーは数多く実現してきていることに気付かせる。	ワークシート 項目①
展	<b>ノーマライゼーションって知っていますか？</b>				
	○ノーマライゼーションの考え方を理解させる。 ○障害のある人が望んでいることはどんなことかをまず予想させてから、作文を読ませる。	一斉	○ノーマライゼーションとは、障害のある人を排斥せず共に生きていくという考え方であることを知る。 ○障害のある人が望んでいることを予想する。	○ノーマライゼーションの考え方を分かりやすくはっきりと伝える。 ○ノーマライゼーションを実現するために、バリアフリーが進められてきた。 ○環境、援助、支援、交流など様々な点について、意見を出させる。	ワークシート 項目②  ワークシート 項目③
開	<b>「恵みの母」を読んでみよう。</b>				
	○「恵みの母」を読んで、障害のある人が最も望んでいることは心のバリアフリーであることを理解させる。	個別 一斉	○作文を読み、作者が伝えたいことを考える。 ①作者がバリアフリーの実現のために行動したことはどんなことだったかを知る。 ②設備の整理以上に必要なことは何なのかについて考える。	①作者が信号機について警察署に質問したことが改善につながったこと。 ②「その場で困っているときに手伝わってもらえる方がありがたい」という内容を具体的に考えさせても良い。	資料集 「恵みの母」
まとめ	<b>「障害のある人の立場」から社会を見て、作者が学んだことは何でしょう。</b>				
	○これから障害のある人とどのようにふれ合っていこうと思うか、自分の考えをまとめさせる。	個別 一斉	○①物よりも思いやり②声をかける勇気③一言で町が変わる…この3つを作者が学んだことを理解する。	○「障害のある人の立場」から社会を見て学んだ3つのことを板書にまとめる。	ワークシート 項目④
まとめ	○これから障害のある人とどのようにふれ合っていこうと思うか、自分の考えをまとめさせる。	個別 一斉	○自分にできることはどんなことを考え、ワークシートに書く。	○学習したことをふまえて、具体的な態度や行動として書かせ、実行していくよう指導者の思いを語る。	ワークシート 項目⑤



評価

障害のある人とない人がともに生きていくノーマライゼーションを実現するためにはどのような課題があるかを考えることを通して、意識上のバリアを乗り越えて互いのつながりを深めることの重要性に気付き、自分にできることを実践していこうとする心情と態度を養うことができたか。